

訂正

令和2年10月14日

資 料 提 供

県立自然博物館 小原

073-483-1777

「化石空白域から新発見！ガンメンガニの化石」の訂正について

令和2年10月13日付けで資料提供を行いました「化石空白域から新発見！ガンメンガニの化石」について、下記のとおり訂正いたします。

記

「4 化石の推定年代」のうち 時代名

【誤】

→

【正】

中世代

中生代

「8 展示場所」

【誤】

→

【正】

自然博物館玄関ホール

自然博物館第二展示室話題のコーナー

令和2年10月13日	
資料提供	
担当課	県立自然博物館
担当者	主任学芸員 小原
電話	073-483-1777

化石空白域から新発見！

ガンメンガニの化石

これまで化石が発見されていなかった地域(化石空白域)から、カニの化石が発見され、当館に寄贈頂きました。新発見の化石を展示します！

- 1 分類学的位置と名称 十脚目 短尾下目 ガンメンガニ科
ガンメンガニ 学名: *Archaeopus ezoensis*
- 2 産出地点 和歌山県御坊市塩屋町北塩屋
- 3 地層 にゅうのかわそう
丹生ノ川層
- 4 化石の推定年代 **中世代中生代**白亜紀後期(約7200万年~6600万年前)
- 5 発見・寄贈者 松本 新一郎氏
御坊市在住
- 6 発見日 平成23年3月11日(金)
- 7 展示開始日 令和2年10月15日(木)
- 8 展示場所 自然博物館**玄関ホール**
第二展示室話題のコーナー
- 9 展示数 1種1点

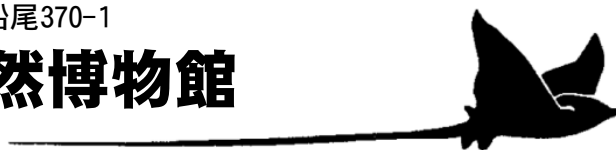


- 10 学術的意義
 - ・御坊市塩屋町周辺の丹生ノ川層西部は、これまでに化石の産出記録がない「化石空白域」であった。このカニの化石は、この地域で発見された初めての化石となる。
 - ・瑞浪市化石博物館との共同研究によって、このカニは淡路島や和泉山脈の後期白亜紀の地層から報告のある、ガンメンガニの化石であることが判明した。(当館館報第38号に掲載)
 - ・丹生ノ川層の形成年代は古第三紀暁新世とする説が有力であるが、この化石の発見によって、後期白亜紀にはその形成が既に始まっていた可能性が示唆された。
- 11 備考

この化石が当館に寄贈される前、日高新報に記事が掲載されたことがある。
(2019年4月17日付「1億~5000万年前のカニ化石」)

〒642-0001 和歌山県海南市船尾370-1

和歌山県立自然博物館



TEL:073-483-1777
FAX:073-483-2721

<https://www.shizenhaku.wakayama-c.ed.jp/>
mail: postmaster@shizenhaku.wakayama-c.ed.jp